

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

富岡市未来共創プロジェクト推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

群馬県富岡市

### 3 地域再生計画の区域

群馬県富岡市の全域

### 4 地域再生計画の目標

本市の人口は、平成7年の54,435人をピークに減少しており、住民基本台帳によると令和2年には47,446人まで落ち込んでいる。国立社会保障・人口問題研究所によると、令和32年には総人口が30,374人となる見込みである。

年齢3区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は減少傾向が続き、令和32年は令和2年の5,077人の半数以下の2,123人となる一方、老年人口（65歳以上）は令和7年をピークに減少傾向に転じるものの、「団塊ジュニア」世代が65歳となる令和22年は増加に転じる見込みであり、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も減少傾向が続き、令和27年には65歳以上人口を下回るなど、令和32年は令和2年の25,762人の約半数13,369人に減少する見込みである。

自然動態をみると、平成27年以降、令和4年まで、出生数は減少傾向となっており、令和5年には158人となっている。その一方で、死亡数は令和4年には787人と増加傾向にあり、令和5年（769人）には減少に転じたものの、令和2年以降は毎年500人以上の自然減（出生数－死亡数）で、自然減数は増加傾向となっている。また、合計特殊出生率をみても、令和5年には0.90と群馬県平均値（1.25）を下回っている。

社会動態をみると、平成27年以降、令和5年まで転出超過の年が多くなっているが、令和2年は7人、令和5年は84人の転入超過となっている。社会増減数を

性別で見ると、年によって変動があるが、平成 27 年以降、令和 5 年まで、女性が男性より転出超過の傾向が強い年が多くなっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、さらには地域コミュニティの衰退等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、市民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 魅力あるしごとをつくる
- ・基本目標 2 ひとの流れをつくる
- ・基本目標 3 若い世代が暮らしやすい環境をつくる
- ・基本目標 4 持続可能なまちをつくる

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (○年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市の支援を受け創業した 事業者延べ件数	7 件	31 件	基本目標 1
ア	市内事業所拡張支援延べ 件数	3 件	11 件	基本目標 1
イ	市内の観光消費額	5,652 百万円	6,230 百万円	基本目標 2
イ	大人になっても富岡市に 住んでみたいと思う小・ 中学生の割合(児童・生徒 の居住地に対する意識 調査)	54.1%	60.0%	基本目標 2

ウ	合計特殊出生率	0.90%	1.16%	基本目標 3
ウ	15～39歳の社会増減数（ 転出超過人数）	29人	0人	基本目標 3
エ	本市に住み続けたいと思 う市民の割合（市民満足 度調査）	75.7%	80.0%	基本目標 4
エ	第1号被保険者要介護認 定率	15.3%	15.2%	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する  
特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

富岡市まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 魅力あるしごとをつくる
- イ ひとの流れをつくる
- ウ 若い世代が暮らしやすい環境をつくる
- エ 持続可能なまちをつくる

#### ② 事業の内容

ア 魅力あるしごとをつくる

施策1-1 地域産業の活性化を図る

- (1) 市内事業者の新たな取組への支援
- (2) 創業・就農や企業誘致の支援
- (3) 食や特産品の活用による「稼ぐ力」の強化
- (4) 環境保全と経済成長の好循環の実現

施策1-2 女性や若者等が活躍しやすい職場と機会をつくる

(1) いきいきと自分らしく働ける環境づくり

(2) 就労支援の充実

イ ひとの流れをつくる

施策2-1 人を惹きつけ続けるまちの魅力をつくる

(1) まちをめぐる楽しさの創出

(2) 富岡製糸場の世界遺産・国宝としての価値の維持と魅力の発信

(3) 妙義山を核とした新たな人の流れの創出

(4) 効果的な観光施策の推進

(5) 文化と観光の連携の推進

施策2-2 移住・定住したいまちをつくる

(1) 交流・移住・定住の促進

(2) 空き家の利活用の促進

ウ 若い世代が暮らしやすい環境をつくる

施策3-1 子育て家庭を支える環境をつくる

(1) 子育て支援サービスの充実

(2) 子どもの安全・安心の確保

(3) 子育て世帯の経済的支援の充実

(4) 子どもたちの発想を活かした遊び場の充実

(5) 結婚・出産の希望を支援する仕組みづくり

(6) 子どもや若い世代の意見・アイデアを活かす仕組みづくり

施策3-2 子ども・若者が学びやすい環境をつくる

(1) 子どもたちの生きる力を育む富岡ならではの教育の充実

(2) 子ども・若者が安心して学べる教育基盤の充実

エ 持続可能なまちをつくる

施策4-1 地域ぐるみでまちを未来につなぐ

(1) 市民協働による地域経営の推進

(2) 地域を知り・学び・活かす環境づくり

(3) 脱炭素型ライフスタイルへの転換

(4) 安定した行政運営と持続可能な財政基盤の構築

(5) 市職員のデジタル活用力の向上

施策4-2 誰もが安全・安心に暮らせるまちをつくる

(1) 暮らしたい・暮らし続けたいまちづくりのための基盤整備

(2) 高齢になっても暮らしやすい環境の整備

(3) 市民の健康を支える保健・医療環境の充実

(4) 尊重し合い、支え合うまちづくり

(5) 市民サービスのDX推進

※ なお、詳細は富岡市デジタル田園都市構想総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

90,000千円（令和7年度～令和9年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

富岡市デジタル田園都市構想総合戦略検証委員会による効果検証を通じて

PDCAサイクルによる事業の検証を行い、市ホームページにて公表する。

⑥ 事業実施期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで

## 6 計画期間

令和7年4月1日から令和10年3月31日まで